

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) マックスバリュ西日本株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒732-0814 広島県広島市南区段原南一丁目3-52広島段原ショッピングセンター5階	
本票作成	部署名：総務部				
主たる業種	分類コード	56	業種名：各種商品小売業		
事業の概要	食品スーパーマーケット、ディスカウントストアの経営				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	マックスバリュオンタウン水島店		岡山県倉敷市水島高砂町3番35号	
	②	ザ・ビッグ倉敷(本体棟)		岡山県倉敷市笹沖1339番地1	
	③	ザ・ビッグ平島店		岡山県岡山市東区東平島1001-1	
	④	ザ・ビッグ連島店		岡山県倉敷市連島町鶴新田1140-1	
	⑤	ザ・ビッグ津山平福店		岡山県津山市平福432番地1	
⑥	ザ・ビッグ岡山一宮店		岡山県岡山市北区檜津567		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 13 所 ●車両台数(②該当の場合) 台)				

計画期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 4.9%	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)			目標年度(令和6年度)					
	16,615 t CO ₂			15,800 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度(令和元年度)の排出量					
	①	マックスバリュオンタウン水島店		2,515 t CO ₂					
	②	ザ・ビッグ倉敷(本体棟)		1,624 t CO ₂					
	③	ザ・ビッグ平島店		1,610 t CO ₂					
	④	ザ・ビッグ連島店		1,588 t CO ₂					
	⑤	ザ・ビッグ津山平福店		1,471 t CO ₂					
⑥	ザ・ビッグ岡山一宮店		1,431 t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
			基準年度	目標年度
			CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和元年度)	達成率(%)
指標の状況	食料品スーパー業	0.799 以下	1.204	66.4%

【目標削減率設定の基本的な考え方】

冷蔵ケースの吸込口、吹出口(ハニカム)及び室外機の清掃頻度を高める。

【目標削減率達成のための推進体制】

ISO14001の取り組みを中心に従業員への教育を進める。特に電気使用量削減に対する取組では、店舗ごとに目標設定と進捗管理を実施し、後方へ実績掲示し「見える化」を実施し、従業員の意識を高める体制を構築する。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
全店	冷凍・冷蔵ケースの清掃（空調の負荷軽減） 冷凍・冷蔵ケースの適正温度基準の指示。 ISOを利用した電気資料量の管理 電気資料量の削減を更に取り組む ・荷受け場の自動シャッターを時間帯により手動化させる。 ・今まで不十分であったエアコンや冷蔵機器のフィルター清掃。 ・削減効果のある店のヒヤリングと水平展開

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
店舗改装の際	新規省エネ機器の導入を実施する。 店内使用照明のLED化
全店	夏季・冬季における「生ゴミ庫」「冷蔵ケース」の温度基準を設定する。 設冷蔵ケースの定期清掃実施。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

レジ袋無料配布中止に伴い、エコバック持参運動の啓蒙活動。

割り箸の袋をプラから紙に変更計画。

変更届理由

Co2の総排出量を中心に管理したいと考えます。